

事項	水稲低アミロース米認定品種「ゆきのはな」の栽培法										
ねらい	水稲低アミロース認定米品種「ゆきのはな」の品種特性を十分に発揮させるための施肥管理及び刈取適期が明らかとなったので、良食味・高品質米生産のための栽培法を普及に移す。										
普及する内容	<p>1 育苗管理 移植時の苗の生育は、「ゆめあかり」と比べ、草丈は長く、葉齢、充実度は並みであることから、これまでの育苗管理に準ずる。</p> <p>2 施肥 (1) 窒素総量(基肥+追肥)は、地帯別施肥基準量とする。 (2) 追肥は、穂肥1回体系とし、窒素総量の20～30%を幼穂形成期に行う。 (3) 耐倒伏性が「中」なので、多肥栽培は避ける。</p> <p>3 籾数の診断・予測 (1) 倒伏、収量からみた㎡当たり最適籾数は、30,000～32,000粒程度である。 (2) 幼穂形成期の追肥で最適籾数を確保できる基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">指 標</th> <th style="width: 30%;">基 準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>草丈(cm)×莖数(本/㎡)</td> <td>28,000程度</td> </tr> <tr> <td>草丈(cm)×莖数(本/㎡)×葉色値(SPAD502)</td> <td>90万～110万</td> </tr> <tr> <td>葉色値(SPAD502)</td> <td>36～37程度</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 刈取時期 刈取りは、出穂後積算気温で900～1100℃程度を目安とし、高品質米生産のため刈り遅れにならないように注意する。</p> <p>5 選別 玄米の選別は、高品質米生産のために1.9mmのふるい目で行う。</p>			指 標	基 準	草丈(cm)×莖数(本/㎡)	28,000程度	草丈(cm)×莖数(本/㎡)×葉色値(SPAD502)	90万～110万	葉色値(SPAD502)	36～37程度
指 標	基 準										
草丈(cm)×莖数(本/㎡)	28,000程度										
草丈(cm)×莖数(本/㎡)×葉色値(SPAD502)	90万～110万										
葉色値(SPAD502)	36～37程度										
期待される効果	「ゆきのはな」の良食味・高品質安定生産のための栽培指針となる。										
利用上の注意事項	刈取適期の判定は、登熟状況を十分に考慮して総合的に行う。										
担当部署(担当者名)	青森県農林総合研究センター 藤坂稲作研究部 (工藤予志夫、神田伸一郎、木村利行、森山茂治、小野泰一、須藤充)	対象地域	南部北東※・津軽半島北部地帯、南部地帯の山間・海岸冷涼地帯 ※下北半島を含む								
発表文献等	平成18～20年度 青森県農林総合研究センター成績概要集										

【根拠となった主要な試験結果】

表1 移植時の苗の生育

(平成18～19年 青森農林総研藤坂)

区分	草丈 (cm)	葉齢 (葉)	乾物重 (g/100本)	充実度 (mg/cm)
ゆきのはな	14.7	3.1	2.73	1.86
ゆめあかり	12.6	3.1	2.41	1.93

注) 窒素・りん酸・カリ各2.5g/箱

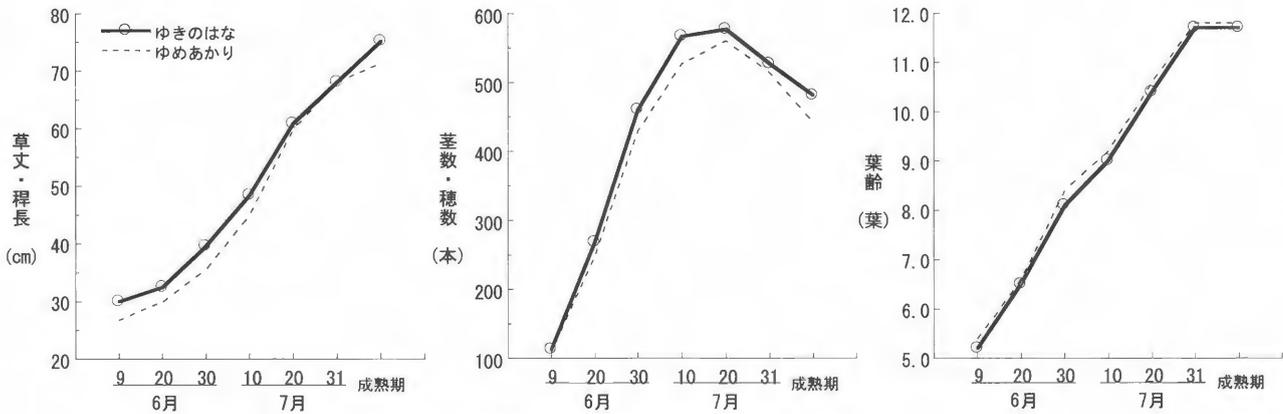


図1 「ゆきのはな」の草丈・稈長、茎数・穂数、葉齢の推移 (窒素成分0.7+0.3kg/a)
(平成18年青森農林総研藤坂)

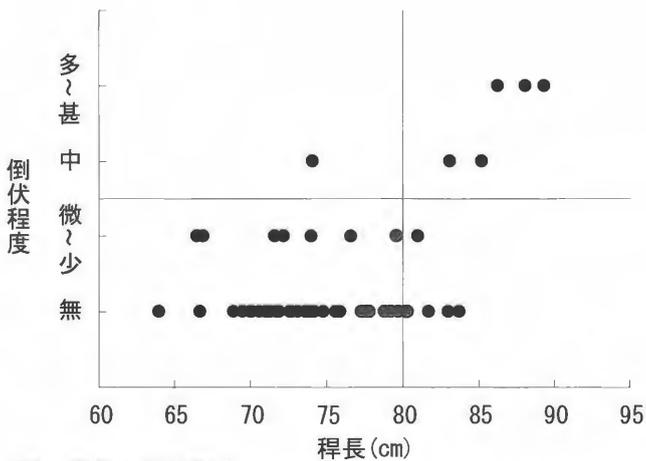


図2 稈長と倒伏程度
(平成18～19年 青森農林総研藤坂・下北普及指導室、平成19年 三八普及指導室)

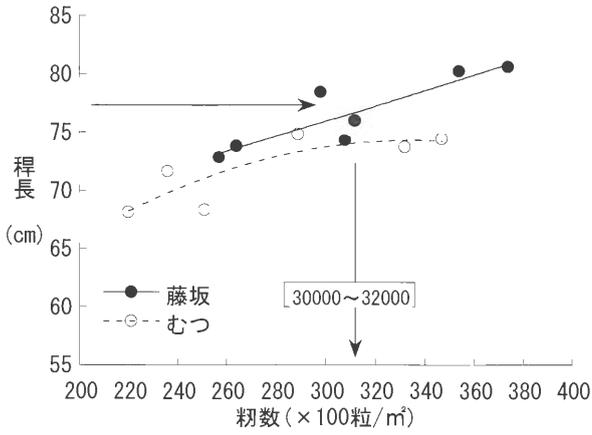


図3 m²当り粒数と稈長(平成18年 青森農林総研藤坂、平成19年 下北普及指導室)

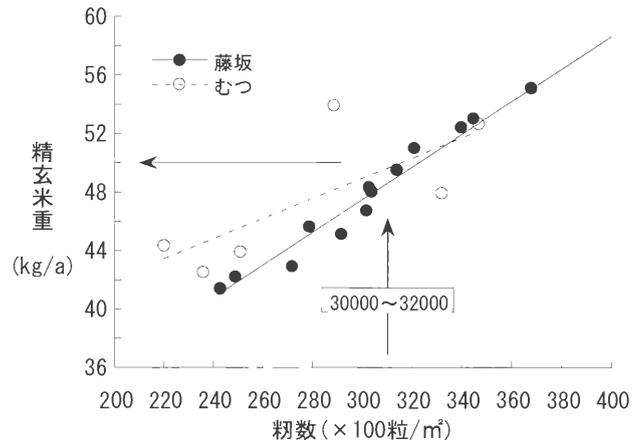


図4 m²当り粒数と収量(平成18年 青森農林総研藤坂、平成19年下北普及指導室)

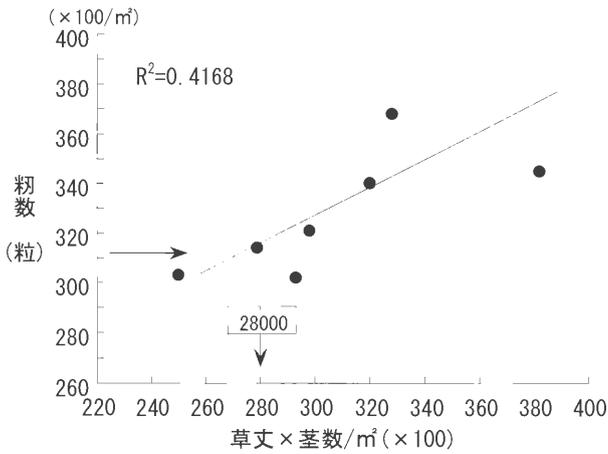


図5 幼穂形成期の生育量と粒数(幼形期追肥)(平成18年 青森農林総研藤坂)

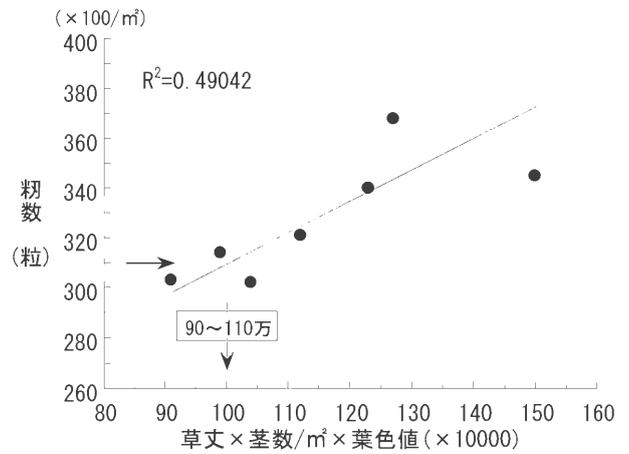


図6 幼穂形成期の生育量と粒数(幼形期追肥)(平成18年 青森農林総研藤坂)

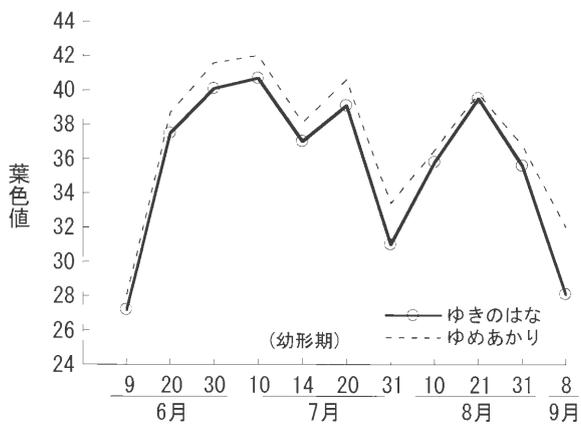


図7 葉色値(SPAD502)の推移(平成18年 青森農林総研藤坂)

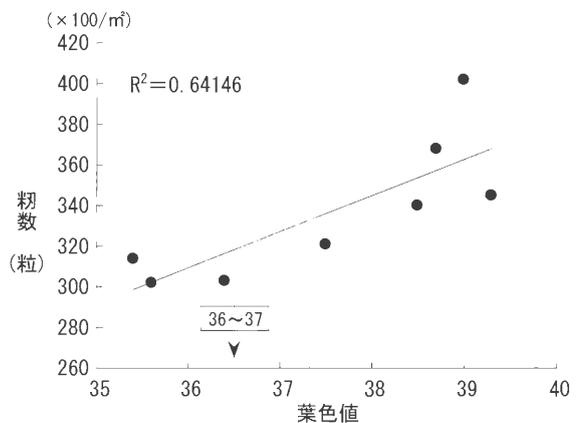


図8 幼穂形成期の葉色値(SPAD502)と粒数(幼形期追肥)(平成18年 青森農林総研藤坂)

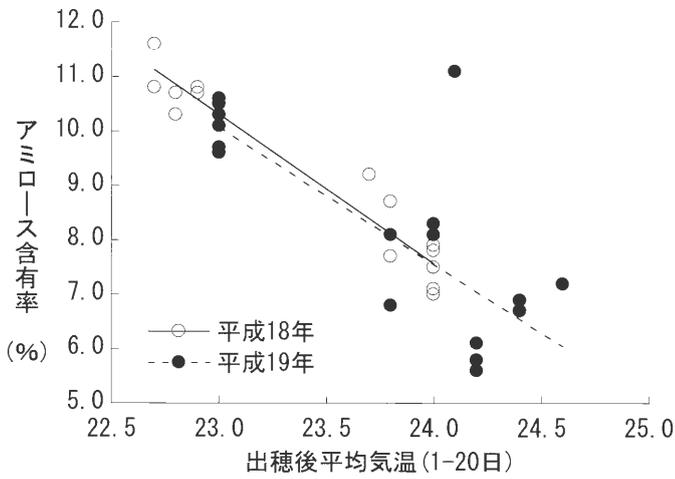


図9 登熟気温とアミロース含有率の関係
(平成18~19年 青森農林総研藤坂・三八及び下北普及指導室)

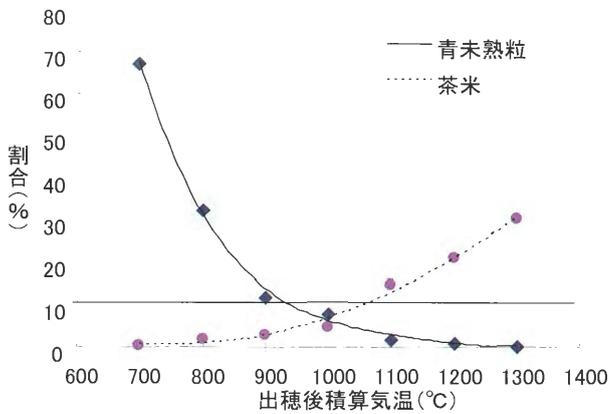


図10 出穂後積算気温と精玄米中の青未熟粒及び茶米歩合
(平成20年 青森農林総研藤坂)

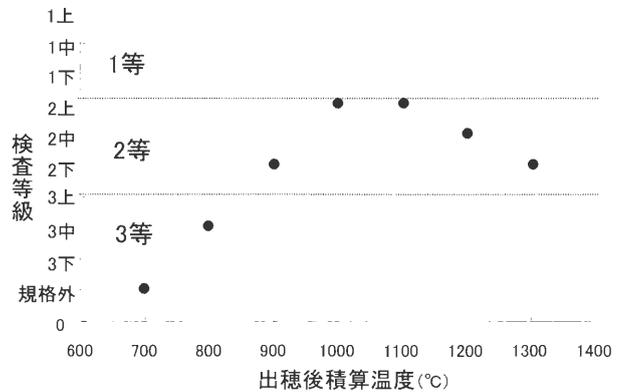


図11 出穂後積算気温と検査等級
(平成20年 青森農林総研藤坂)

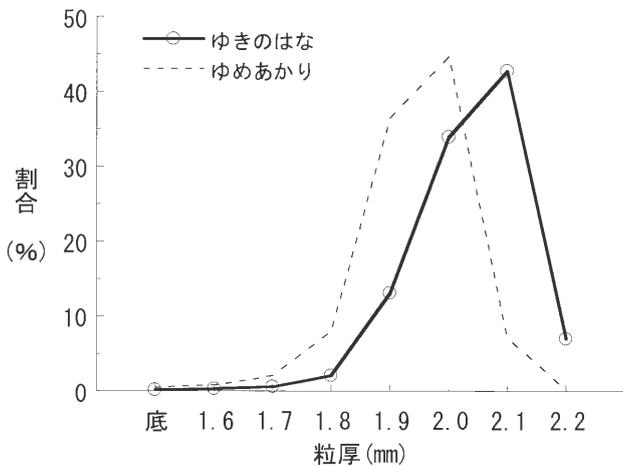


図12 粒厚分布(平成18年 青森農林総研藤坂)